

創造的復興に向けた 三八地域県民局の取組状況

平成25年9月6日
三八地域県民局

1 住宅の再建支援

震災被災者が望む、スギ・アカマツ等の地域材を活用した住宅を低価格で実現できるよう支援しています。

「さんぱちの木が香る復興住宅づくり支援事業」

これまでの
取組状況と成果

被災者への
アンケート調査を実施



今後の取組予定

地域材活用復興住宅
モデル研究会による検討

地域材活用
復興住宅モデルのPR

◎ PRパンフの作成・配布



◎ 住宅見学会(構造・性能・完成)の開催

住宅モデル提案

- ①働き盛りの子育て世代
※40代の3人家族(40坪)
- ②子供が独立したシニア
世代
※60代の女性(25坪)

被災者
が建築



2 水産業の復興支援

津波で大きな被害を受けたウニ、アワビの資源と漁業の回復に向けた取組を行っています。
(『震災後の磯根資源復活事業』 予算額4,023千円)

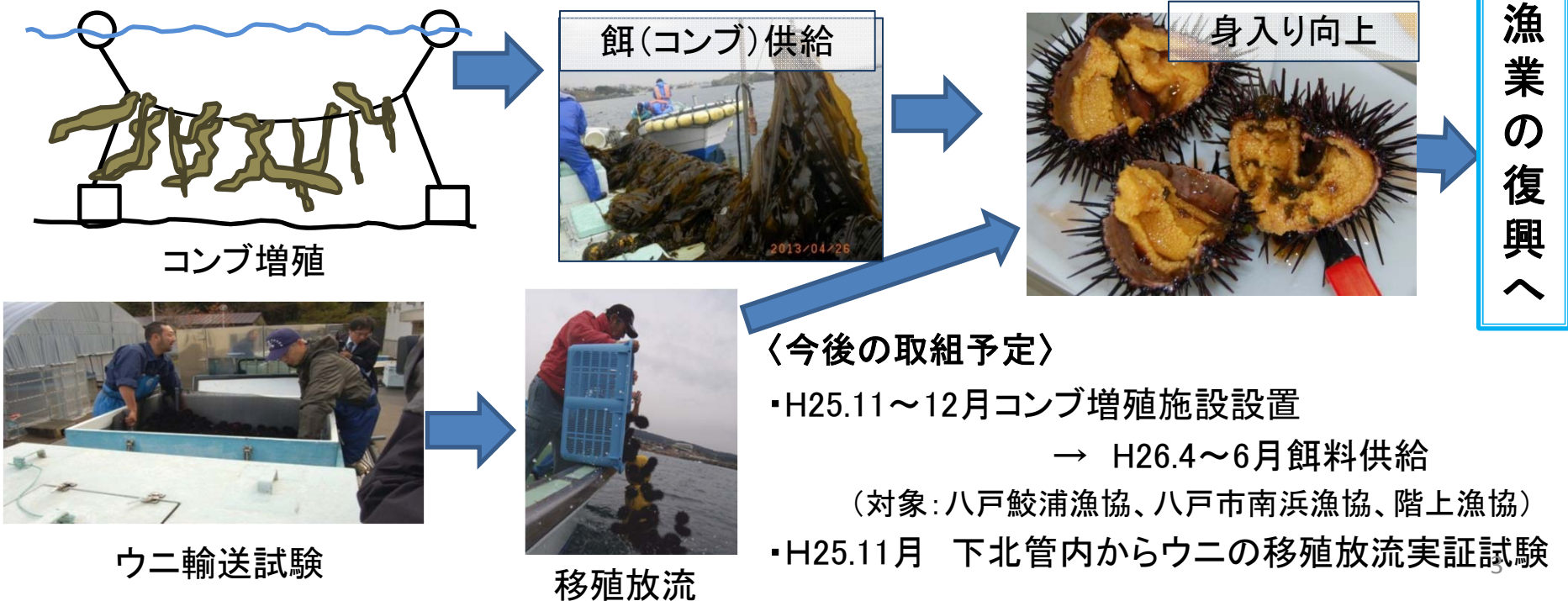
〈これまでの取組と成果〉

- ・成長と身入り促進のために、津波被害を受けた餌料海藻を増殖して供給

H24.11~12月コンブ増殖施設設置 → H25.4~7月餌料としてコンブ 60トン供給
移殖放流後のウニ身入り率が19%に向上(15%で漁獲可能、20%は非常に高い)

- ・下北海域からの移殖放流に向けた輸送方法確立試験

H24.11月 下北管内から輸送試験実施 → 生残率の高い簡易な輸送方法を確認



3 企業の再生支援

<三八地域震災支援マッチング事業>

■目的

被災3県の復興支援や、震災をバネとした三八地域の産業振興に向けて、岩手・宮城・福島県企業と三八地域の企業のマッチングを支援する。

■これまでの経過

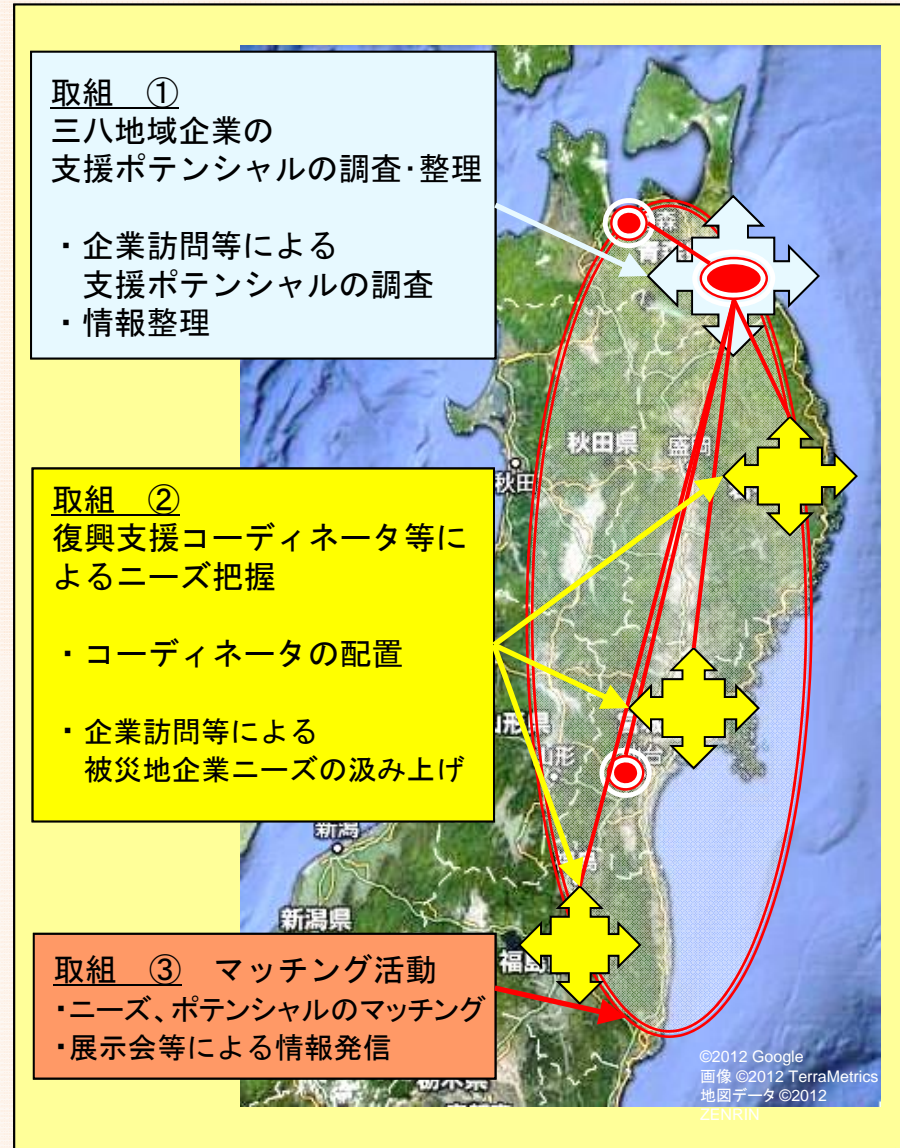
- 被災3県等の企業75社を調査し、三八企業に対するニーズ37件を発掘
- うち、27件・15社のニーズについて、三八企業との問合せ・引き合せに繋げた。

■成果例

- 石巻専修大、石巻市内の水産加工会社などが共同開発により商品化した「サバだしラーメン」の材料（サバの中骨・アラ）を八戸市内の水産加工会社が提供。9月2日に販売開始。

■今年度の動き

- はちのへ水産加工展示会2013で、宮古市の水産加工企業4社が商談を実施
- 魚体処理装置の共同研究開発に向けた競争的資金（復興助成金）に申請中
- 八戸市物産協会主催の東北物産展に、宮古市の食品加工企業2社が出展予定
- 東経連主催のビジネスマッチ東北2013への出展によりマッチング活動を実施予定



4 観光の復興支援

■5月24日

大震災により被災した三陸地域の復興に貢献するため、陸中海岸国立公園に種差海岸、階上岳地域を編入し、「三陸復興国立公園」が誕生

■5月25日

指定記念式典等を開催

■今年秋頃

八戸市の蕪島から福島県の松川浦までの沿岸約700キロを結ぶ長距離自然歩道「みちのく潮風トレイル」の一部が開通予定

種差海岸などの知名度向上が課題

- 「はちのへ観光復興委員会が実施したアンケートでは、知名度不足が浮き彫りに

種差海岸を

「知らない」	45.8%
「見たことがある」	14.6%
「見たことはないが知っている」	15.8%

(2013.6.15 於:JR有楽町駅前ひろば)

震災復興のシンボルとして、また観光の目玉として期待される三陸復興国立公園の種差海岸や階上岳エリアの魅力を全国に強力に発信するための取組みを進めています

三陸復興国立公園指定記念イベント開催事業

8月24日(土)・25日(日)

- オープニングセレモニー
- 記念トーク&ライブ
- 三陸エリアの郷土芸能
- 三陸エリアのご当地グルメ

入場者約 320人

来場者約 3,800人

三陸復興国立公園プロモーション事業

10/6
(日)

種差海岸
トレッキング

10/27
(日)

階上岳
トレッキング

三陸復興国立公園写真コンテスト

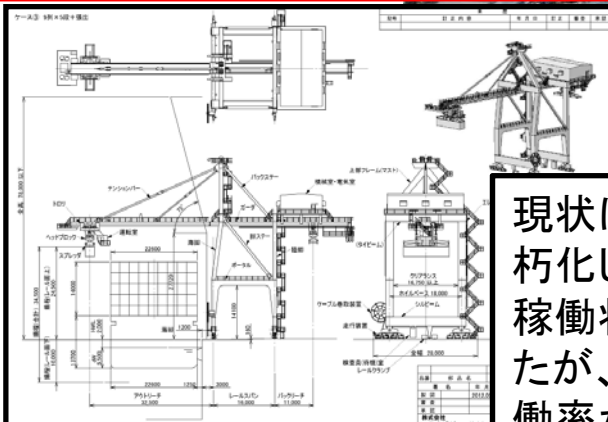
応募期間 8月20日(火)～10月11日(金)

三陸復興国立公園PR用DVDの製作とPR

5 物流拠点機能の強化

2013.3.15撮影

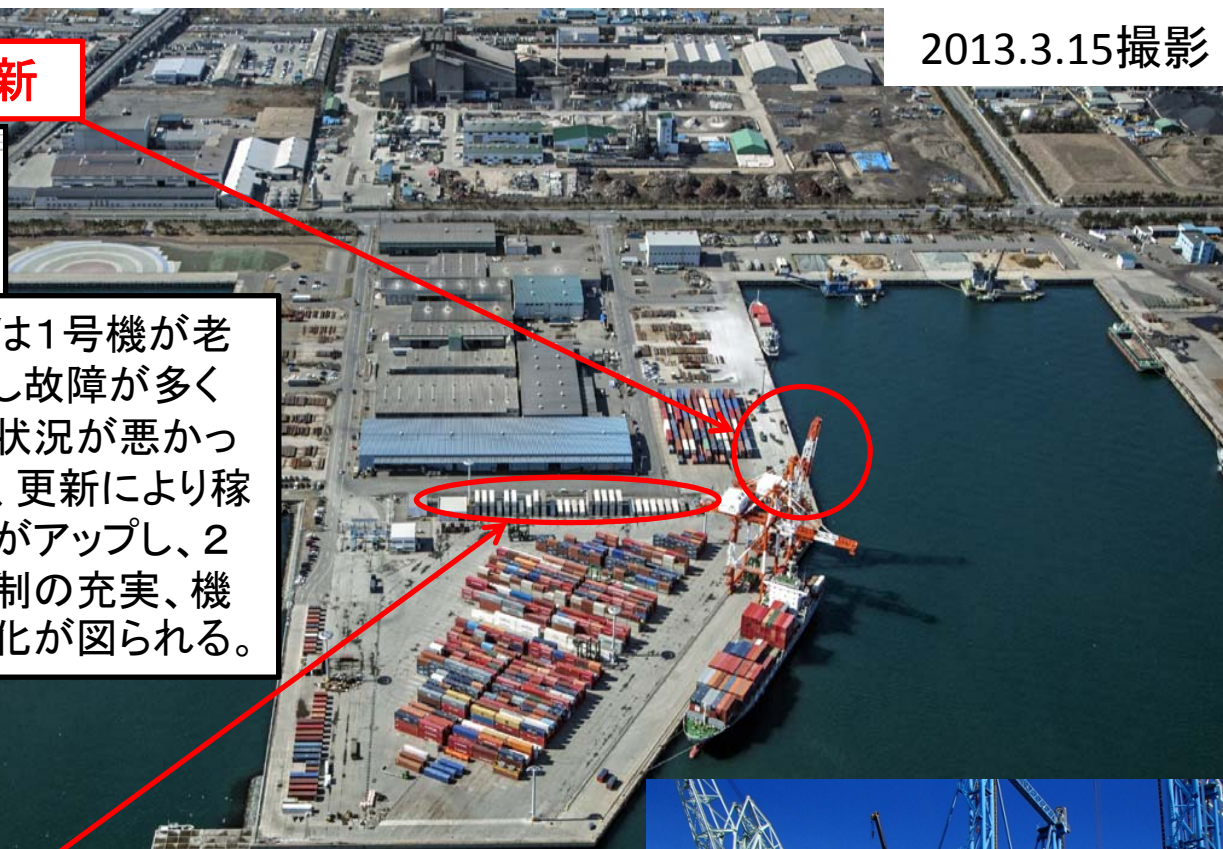
ガントリークレーン1号機の更新



主要仕様

定格荷重(コンテナ) 30.5t
 アウトリーチ 32.5m
 揚程(レール面上) 25.0m
 揚程(レール面下) 10.0m

現状は1号機が老朽化し故障が多く稼働状況が悪かったが、更新により稼働率がアップし、2機体制の充実、機能強化が図られる。



リーファーコンテナの増設(15基)



増設 15基

既設 62基



1号機製作状況

6 災害に強い地域づくり(1)

県営海岸防災林造成事業の取組状況

〈被災状況〉

八戸市市川地区の飛砂防備保安林約5haが被災
その後、塩害等により約6ha枯死



〈取組状況と成果〉

被害木・枯損木の処理⇒静砂工・植栽工の実施

H23～H25計画

静砂工L=22,830m、植栽工A=3.20ha(進捗率71%)



〈今後の取組〉

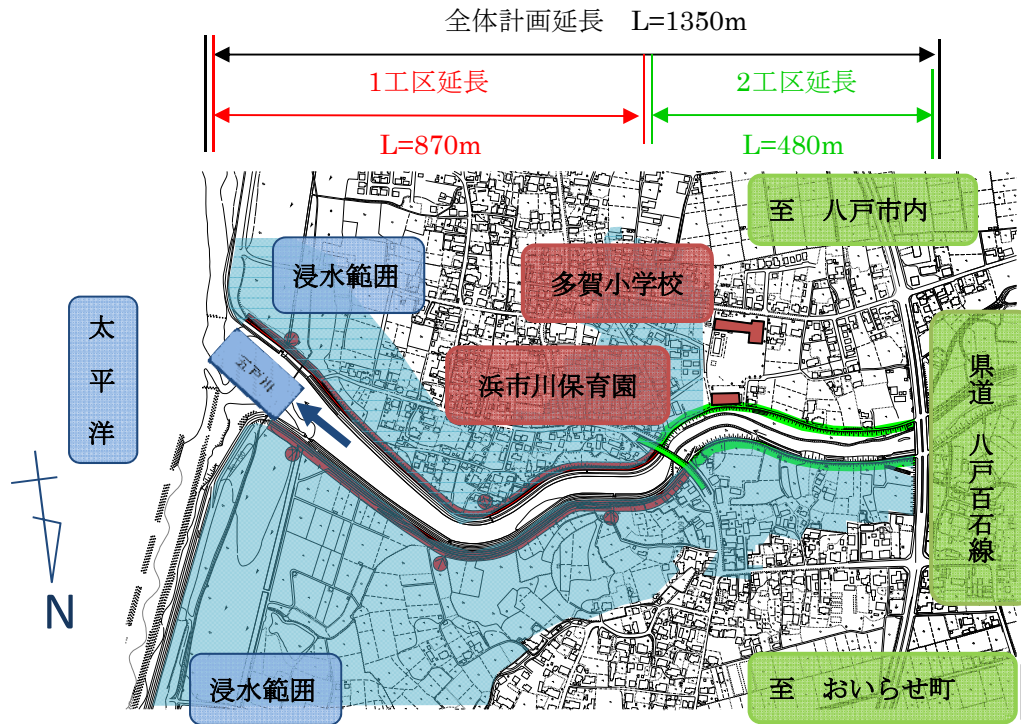
静砂工L=6,030m、植栽工A=7.85ha

平成27年度で復旧完了



7 災害に強い地域づくり(2)

五戸川地震・高潮対策河川事業の取組状況



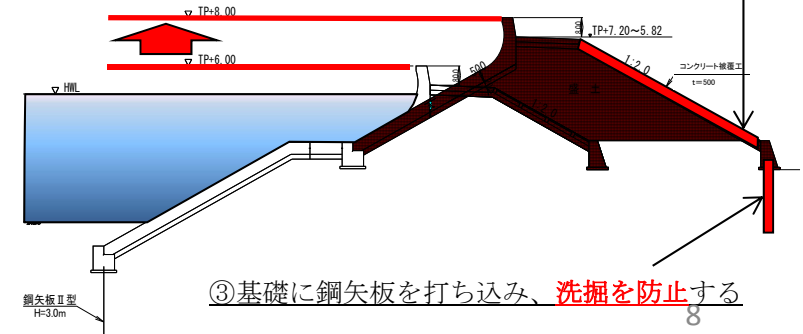
五戸川空中写真



計画堤防横断図

整備方針：既設堤防を2m嵩上げし、粘り強い構造へ改良する

- ①既設の堤防を2m嵩上げする
- ②裏法を被覆し流出を防止する



事業概要

この事業は東日本大震災を契機に定められたレベル1の設計津波が越流しないよう、五戸川河口から約1.4km区間の堤防を嵩上げするものです。

- 計画延長 L=1,350m(うち1工区 L=870m)
- 事業期間 H23~H27(1工区)、H28~(2工区)
- 平成25年度までの取組状況・・・
 - 1工区 測量・設計・用地買収
 - 2工区 測量・概略設計
- 平成26年度の予定……………
 - 1工区 築堤工事
 - 2工区 詳細設計